

■トラック7 夜の本番デビル

//BGM 夜の海辺の波の音

//SE デビラが馬乗りになる布音

//デビラ 馬乗りの状態へなるため

正面近くから声を出さずに囁きます

「んっ…しょ…(男性に乗る)

ひひい…お客様に…

乗っか…て と…」

//SE 男性に抱きつく布音

//デビラ 抱き付いてくるため左耳元へ

移動しながら声を出さずに囁きます

「ぎゅー…

にひひ…お客様？

好き…にひい 好きだぞ？」

「お客様は？ お客様はあ…にひひ

デビラの事好き？」

「にひひ…好きじゃなきや

夜の相手にデビラを選ばねえか んふー」

「メリアよりもウツギよりも  
デビラが好き？」

「んふー…んー？ どうなんだ？  
ほらほらあ…にひー 言わないと  
このふにふに当たってるの…  
入れてやらないぞ？」

『デビラの事…好き？』

／間 5秒

「にひひ…よく言えました  
んじゃ ご褒美に…」

デビラのえっちなおまんこ  
いーっぱい使ってオス汁精液  
どっぴゅどっぴゅ出させちゃうな？」

//SE おまんこを擦りつける粘液音

「んっ ひひ ャー…おまんこ」  
ほらあ…もうどろどろだぜ？」

「お客様のちんぽ  
入れたくてしょうがなくて…  
んんっ…きゅんきゅんしてる…んはあ」

「あ…んっ…だめ  
ほし…んっ…入れる…ぞ  
ちんぽ お客様の勃起ちんぽ  
入れちゃうぞ」

//SE くニスをゆつくりと挿入する粘液音

「あ…入る…ん は…んう  
入る ちんぽ んぐっ は！ 入って…」

//SE 亀頭が挿入される粘液音

「あ くはあ… はいったあ  
ちんぽ…先っちょ…」

//SE くぶくぶという結合部の音

「んんっあ はあ…はあ…  
お客様の で…でけえよ…ばかあ…  
はっ んんう あっ…んっ く…」

「んう…はあ…はあ…ひひ…  
デビラのおまんこ…小っちゃいから…  
お客様のちんぽ…収まなくて…」

「んっ…く…だ大丈夫…  
全部入れてやるからな？」

「んっ…でも…  
ちっとおつきすぎるからあ…  
んっ きつい…よお…」

「ちゅー…ちゅーう…  
ちゅーしてほしい…  
ちゅーしながらなら…入る…からあ…」

//SE キスするために近寄る布音

//デビラ キスするため正面近くへ移動  
しながら声を出さずに囁きます

//キス

「お客様あ…んっ…んう…ちゅ…

じゅる んはあ れおれおれお…んっ  
お客様はまあ… んっ じゅる ぬちゅ  
ぬるぬる…」

「んはあ…はあ…いくほ？

おっきい勃起ちんぽ  
もつと奥まで…はあむ  
んっ んっ ちゅ ちゅ

//SE 奥まで挿入する粘液音

「んんんんっ！？」

んぐっ んちゅ…ぱあ！  
う…うはあ はあ！ はあ！ んくっ！  
は…入ったあ  
ん…んくう… お 奥まで…全部…」

//SE クプクプという結合部の粘液音

「んう…んっ はあ

はあ はあ…お客様あ…はあ はあ  
はむ んっ んちゅ じゅる…ちゅ…ぱ

//SE 抱きつく布音

//デビラ 抱き付いてくるため左耳元へ  
移動しながら声を出さずに囁きます

「…ひひ はあ はあ ほらあ…

お客様のちんぽ…全部食べちゃったぞ？  
にひひ…」

「ほらあ…く。ぷ。く。ぷ。…つて

やらしー音してる…んふう

んっ？ おまんこキツイ？ んふう

むーしょーがねえだろ…

ちんぽ入れんの…

お客様のが初めてなんだからあ…」

「んふう…どうだ？ きもち？

んん…ちんぽ…きついなあ…

もう…おまんこが全部

お客様の形にされちゃってるぞ…」

「はあ…はあ ひひ

デビラのおまんこの一番エッチなところ  
このちんぽでぐちゅぐちゅかき混ぜて  
お客様のモノにさせちゃうな？」

「いーい？ うんじゃ…

腰…動かすぞ？」

「デビラのおまんこの感触  
全部味あわせてやるな？」

//SE セリフに合わせ挿出する粘液音

「んっ んふ んっ んう  
あ やっ んっ おっきっ  
くっ はぁ お客様の ちんぽ くっ」

「奥っ…んっ こっこっ…って  
んっ はっ はっ あう あっ んっ  
ふーっ ふーっ んっ はぁはぁ」

「おくう おくっ 硬いの おっきのが  
おく ぐちゅ ぐちゅって… ふぐっ  
んっ んっ」

「んふっ ふ んっ あっ ど どうだ  
お客様ぁ これ んんっ き きもち？  
デビラの おまんこ きもちー？」

「はっ はっ ひひ お客様  
んっ はっ はっ  
情けない 顔 してる…あっ んう ん  
っ んっ」

「んくっ んんっ デビラの おまんこに  
ちんぽ 気持ちくされて はっ はっ  
あっ あんっ  
か 顔とろけてるぞ？」

「じゃー ちよつと激しくして  
お客様の事 んっ んっ くふっ  
いじめ ちゃお っかなあ？  
にひー」

//SE セリフに合わせて挿出音激しく

//激しく挿出するため

セリフの呼吸を早めます

「ほらっ んっ ほらっ  
おまんこ おまんこっ！  
デビラ の おまんこ の 奥で  
ちんぽ ちゅっ ちゅ  
くっ んっ あっ あっ うっ し  
ちゃっ てるぞ？」

「くふ んっ？ んっ なに？  
初めての くせに…はげし？ にひひ」

「だ だってえ んっ お客様 との  
んっ はっ はっ  
こうび んっ はっ えっち  
きもちっ きもちーん だもん」

「はっ はっ お客様 んっあ  
お客様 んっ ふっ ふっ ふっ」

「あっ あっ あっ だめっ  
くるっ んっ! あっ んくっ!  
これ だめっ んっ イクっ んっんう」

「止めないでっ んっ んっ はっ  
お客様 お お客様 あっ あっ ん  
んっ んっ ふっ! イク イク イク」

//SE 挿出音 停止

//SE デビラがイキ  
びくびくと跳ねる布音

「んんんんんんっ!?  
んっ! ふぐっ!(跳ねる)  
くはあ はあ! はっ! あっ んう  
んんんう…お客様…様あ…んっ!」

「ふっ! ふぐっ! んっ!  
んっ… んっ…  
んっはあ はあ…はあ はあ…はあ…」

「お客様あ…えへ…ひひ…いっちったあ…  
にひ…へへ」

「んはあ…はあ はあ…  
ふー…」

「ひひ…めんめん」  
先 一人で イっちった…へへ」



「むううん…だつて…

きもちーんだもん…

お客様のちんぽ…」

「あへへへ…」

//SE 腰を動かし

クプクプという結合部の粘液音

「つて…あ ほらあ…にひひ…」

腰 うかせちやだーめ

分かってるつて…

ちゃんと デビラがお客様の事も

気持ちくさせてやるからあ…

お客様は 動いちゃだめだぞ？」

『デビラのお…

イキたておまんこの お肉

お客様のちんぽで

ずりずり ぬちゅぬちゅってさせて

いっぱい はっ はっ

刺激して 感じさせちやうからな？

にひひ…」

//SE デビラがわずかに  
腰を動かす粘液音

「んっ…くふふ…あー…」

ほら見て？

えっちしてるところからあ…

お客様の我慢汁と

デビラの愛液 すっごい漏れて来てる」

「ほらあ…腰を…」

ちよつと揺らすと…

へへ…くちゅくちゅって

すっごいやらしー音出てる…」

「ほら 聞こえる？

このデビラとえっちしてる

ぬちゅぬちゅって音」

『デビラのおまんこ…

お客様のちんぽで こんなに

えっちになっちゃってるんだぞ？」

「にひー やらしーな？

いひひ…このまま中に出されたら

どーなっちゃうんだろうなあ んふう…」

「どっくん どっくん…って

デビラのすぐイっちゃう

ドスケベおまんこに…

白くて粘っごいオス汁精液

出すんだぞ？」

「そんなことされたらあ…もうお客様から  
離れらんなくなっちゃうぞ？ にひひ」

「んー なんだ？ そんなこと言われたら  
いっぱいザーメン出したくなっちゃう？  
にひひー

いよー んふふ…

いーっぱい出そうな？」

「でーも…まだだめっ

だめだぞ？ まだ だめ」

「もーすこし耐えてな？

お客様も デビラのおまんこ

まだ味わってたいだろ？」

『デビラも まだ

お客様の このおっきいちんぽ

ずーっと味わってたいから

頑張つて？ な？」

「うんうん…じゃ…

もっかい動かすぞ？ にひ…」

「あ…でも…にひひ…

デビラ すぐイっちゃうからあ…

デビラがイって

腰動かすの止めちやつても…」

「お客様が デビラの腰掴んで…

無理やりちんぽ突き入れて…

お客様が満足するまで…

精液出すまで…

ダメって言ってもいっぱい犯してな？  
にひひ…」

「うん…じゃ…行くぞ

お客様…もっかい…腰

んっ 動かす…ぞ」

//SE セリフに合わせ挿出音

//デビラ激しめに腰を動かします

「んんっ んっ はあっ

んっ あっ くっ

んんっ！ あっ あっ お客様…

はっ はっ

あっ あんっ んっ ふっ はあ はあ」

「好きっ はっ すきい お客様好きっ

おまんこっ 突かれるの…好きっ はっ

あっ んっ はっ はっ

お客様 お客様あ」

「んっ くっ はあ だめっ

はっ はっ うくうくっ！

んっ はあ！

んくっ あ…ああっ！

おきやつ…う 様あ」

「ちゅー ちゅー んっ んっ  
ほしっ ほしっ  
お客様 あ んっ はっ はっ ちゅー  
してっ してっ」

//SE キスするために

正面へ移動する布音

//デビラ キスするため正面近くへ

移動しながら声を出さずに囁きます

「はあむ んっ んっ ちゅ

じゅる んっ ちゅ

んっ くっ んはあ はあむ

んっ んふっ んむー

んぐちゅ じゅる れお…

んっ んっ んっ」

//SE 抱きついてくる布音

//デビラ 抱き付いてくるため  
左耳元へ移動しながら声を出さずに  
囁きます

「んはあっ！ はっ！ はっ！

ひぎっ！ んぐっ

んはあ お客様 あ イク イク

あっ あっ

イっちゃ イっちゃ！ あっ んっ！」

//SE セリフに合わせた挿出音

//男性がイっているデビラの腰を掴み  
激しく挿出

「んはあ んっぐっ！

んああ あああああ…

ひっ はっ はっ はっ

ダメっ んっ むう んぐっ！」

「イ イって はっ はっ

イってるからあ

腰っ あっ 腰っ 動かひちや ふっあ」

「ふっ んっあ はっ はあ

あっ だめっ

んっ はあ お客様

お客様 あ おきやつ 様あ

あっ はっ ああ ああ

ひっ ふう ぐっ」

「んっ はぁ お客様もっ？」

イキそっ？ んはぁ…

いいっ ひっ いい…からぁ

んっ はっ はっ もうだめ…

ほしく なっちゃったぁ」

「んひい… はっ はっ お客様 のお

ざーめん おまんこ に デビラの

おまんこ に

直接 んあっ はっ はっ びゅー

されたく なっちゃった よぉ」

「んっ ん いいよ？ イって いいよ

お客様 好きっ んっ 好きっ

出してっ んっ んっ んっ はっ

はっ お客様さまっ んっ」

「んんっ ふっ ふっ はっ

もっ 我慢しないで ほら ほらっ

だしちやえ んぐっ 出しちやえ

お客様の 我慢して

特濃に なった 本気ザーメン

全部デビラ の

一番 エッチなところに びゅーって」

「んっ ふっ 好きっ 好きっ

ふっあっ 頂戴っ

いいぞ ほらほら 出せ

お客様のねばっこいの

全部っ！ んっ んっ！ んっ！」

//SE 射精音

//SE 結合部から精液が零れる粘液音

「んんうっ!?(射精される)」

//SE 射精音

//SE 結合部から精液が零れる粘液音

「んっ! (射精される)」

「んんんんっ!」

んっ んはぁ きひひ 出てる 出てる」

//SE 弱い射精音

//SE 結合部から精液が零れる粘液音

「あっ! (射精される) んんう…くう…  
また…びゅーしたぁ…んっ」

//SE 弱い射精音

「あー はぁ…んふ ふふ…

まだ中できゅくゅ出てる にひひ」

//SE 精液が子宮にたまるぽおという  
粘液音

「はぁ…はぁ…はぁ…

あー すげー… おまんこの中が  
お客様のものにされてるのが分かるぞ  
にひひ」



「あつっう…これ…たまんねえ…  
はあ はあ おきやくさまあ…へへ  
すきい…お客様に射精されるの…  
好き…だぞ？」

「んふふ は…  
にひひ で終わった？」

//SE キスするために  
正面へ移動する粘液音

//デビラ キスするため正面近くへ  
移動しながら声を出さずに囁きます

//キス

「んひー よくできました  
はあむ…んちゅ ちゅ…じゅる  
ん…んちゅ」

「れおれおれおれお…んっ ちゅ…ぷ  
んはあ…こくん にひひ…  
好きっ！ お客様 大好き！  
大好きになった んひひー」

//SE　ぐ　ニスを引き抜く粘液音

//デビラ　挿入状態から離れるため  
正面少し遠くへ移動しながら声を出さず  
に囁きます

「うん…んふー　じゃ…抜くな？  
んっ…しょ…っど」

//SE　精液がどろっと垂れる粘液音

「はぁ…　あ…精液…  
いっぱい垂れてきた…  
ひひ　えっちい…」

「あーやらしー…  
へへ…これすごいね…  
どんだけ出したんだよお  
にひひ…ばかぁ…」

「ちんぽも精液まみれ…ほらこれ…  
すげえぞ…どろっどろ…  
にひひ…今…掃除してやるよ  
ひひ　デビラのお口で…な？」

//SE デビラがフェラの位置へ移動する  
布音

//デビラ フェラの位置へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「ん しょ…(移動する) じゃ…」

「んはあ…すげえ…

ぬらぬらしててちよーえっち…

このちんぽに

たくさん犯されちゃったんだなあ…

にひひ」

//SE ペニスを指で掴む粘液音

「んふう お客様の デビラのおまんこ  
犯したてちんぽ… いただきまーす」

//フェラ

「はあむ んちゅ あむう こくん  
んっ ちゅ じゅるる んちゅ こくん」

「んー…れおれおれお…ちゅ…ぽ

くふふ イったばかりで

敏感になってる

ひひ ほら…れおれおれお…」

「ふっ きもち？ くふふ

くすぐったい？ んふー そつかあ…

にひー」

「んふう はあむ んちゅ じゆる  
んちゅ じゆるる

れおれおれおれお…んちゅ  
ぬらあ…ぬろぬろぬろ…」

「あはあ… くん 精液おいし…

は…はむ んちゅ

はもはも…んっ …ちゅぽ

くん…」

「んー？ にひ…ちんぽ

やわらかくなっちゃったな？」

//SE フェラの位置から移動し

抱きつく布音

//デビラ 抱き付いてくるため左耳元へ  
移動しながら声を出さずに囁きます

「んふー ん…しよ…と(移動する)」

「にひひ エッチしてつかれた？

んー？ そか…

うん…じゃ ちっと休憩な？ にひひ」

「あ でも お客様？

まだまだ 終わりじゃないからな？」

「お客様のちんぽで精液で ぐちゃぐちゃ  
になったデビラのおまんこを

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅつて

朝まで何度でも

いーっぱい交尾させちゃうぞ？」

「そんでお客様のたまたまに入ってる精液  
ぜーんぶ搾り取っちゃうからな？」

「んふー…しよがねーだろお？  
お客様がチンポでデビラのこと  
大好きにさせちったんだからあ」

//SE 抱きつく布音

「ぎゅー…(抱きつく)  
もう 離れねえかなあ？  
覚悟しろよ？ にひひひひ…」

「じゃ…休憩の前に ちゅー…な？」

//SE キスするために正面へ  
移動する抱きつく音

//デビラ キスするため正面近くへ移動  
しながら声を出さずに囁きます

//キス

「うんっ…お客様あ…」

はあむ んちゅ じゆる んっ ちゅ

「んはあ…んっ ちゅ じゆる

ぬるぬる ぐちゅ…んっ

はあ 好き…んっ ちゅ じゆる…

んはあ

好きだぞ…んっ ちゅ じゆる

ぬるぬるぬ… ぐちゅるる」

「れおれおれおれおれお…」

んちゅ…ぽ　こくん

んはあ　はあ…お客様あ…すきい…

んっ　ちゅ

じゅるる…れお　んはあ

はあ　んっ　ちゅ

「んっ　お客様あ…もつと…」

んっ　ちゅ　じゅるる…

んう　ちゅ…じゅる　にゅちゅ

じゅる…ぐ。ぶ。ぐ。ぶ。ぐ。ぶ。…んっ

「んちゅ　んはあ…お客様あ…　お客様あ

…んっ　ちゅ　じゅるう…——」

／＼フエードアウト